

わかば33カ所巡り ～第十六回 「平和公園と東光院を巡る」～

平和公園の古墳と貝塚、東光院の獅子舞

2015/01/03

あけましておめでとうございます。

千葉は今のところ雪も降らず寒さ対策さえすれば冬でもサイクリングできるアウトドア天国。それを活かさない手はありません。

でも油断はできません。日陰は凍結しているかもしれません。見ただけでは分かりませんので、転ばぬ先の注意、気をつけて走りました。

今回出かけた先は平和公園と東光院（緑区平山町）。

平和公園を経由したのには一つの目的がありました。古（いにしえ）の史跡が平和公園にあるので、それを確認したかったのです。

史跡とは内野古墳群と多部田貝塚です。古墳群は平和公園の中と外にあります。平和公園のすぐ外の小路を通りました。

【ルートの概要】

千城台駅～泉高校～平和公園～金毘羅神社～東光院～京葉CC～大草～千城台駅

道案内

千城台駅前を発って北谷津、泉高校前を通り、その先の交差点を右折して国道126号線を横断して、都川を越えて次の小路を右折して、都川の左側に行く。田んぼの縁を曲折しつつ、左の丘の上の集落に続く小路に入る。

道なりに進み、やがて平和公園の脇に到る。前方後円墳がある藪の辺りを見る。道なりにさらに少し行くと平和公園の正門の脇に至る。正門から公園に入り、少し行くと左に古墳の説明板がある。



内野古墳群分布図

内野古墳群

Ancient Tombs of Uchino

所在地 千葉市若葉区多郷田町1492番地

内野古墳群は都川に面した舌状台地上にあり、前方後円墳1基と円墳5基が現存していますが、もとは消滅した円墳2基を加えた8基からなる古墳群であったと想定されています。これら古墳は近くにあった木戸作集落跡、うなすず集落跡の人々によって造営されたものと考えられています。

昭和50年度に実施した4号墳の発掘調査により、古墳時代後期の常陸地方の特徴である組合式箱型石棺が発見されたこと、古墳群の東端にある前方後円墳の形式が、前方部が張り出した形をしていることから、本古墳群は東国における群集墳の盛行期につくられた可能性が高く、6世紀末から7世紀の前半に、この古墳群が形成されたものと考えられています。

These tombs date back to the sixth to seventh centuries. One tomb is square at the head and round at the foot and five tombs are round. They are thought to have been built by people living in the neighboring villages of Kidosaku and Unarasuzu.

平成9年3月

March 1997

千葉市教育委員会

Chiba Municipal Board of Education

内野古墳群の説明板



園内の周回道路を進むと、トイレの前の芝生広場で親子が凧揚げをしています。お正月ですね。



トイレの先のロータリーを右に少し行くと貝塚を示す石柱と説明板があります。植え込みがあって貝塚に近づくことはできません。



多部田貝塚の説明板



平和公園を南門から出て、緑区東山科町にある金毘羅神社（上の写真）を経由して平山町へ。東金道路を越えて、急坂を下ると金光院があります。「東山科」という地名は、その昔、この地を与えられて京都からやってきた人がつけた名前だそうです。



金光院の境内は大勢の人で賑わっていました。本堂でお坊さんの法話が終わると、獅子舞が始まりました。



獅子舞が演じられる舞台。太鼓や獅子頭が置いてあります。



東光院を後にして、カフェ杏樹絵（上の写真）の前を通り、京葉カントリー倶楽部、大草町を経由して、出発地の千城台に戻りました。
詳しくは、ルートマップをご覧ください。